

半定量イオン試験紙 硝酸 100 (MN91351)

取扱説明書

国内総発売元

株式会社 アイシス

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法・保管方法による不具合、カタログおよび下記《取扱上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

《取扱上の注意》

1. 試験紙に触れる際は必ず研究用手袋を装着してください。指示薬により皮膚に炎症を起こす恐れがあります。
2. 測定後の試験紙の変色は、時間経過によって変化する場合があります。
3. 本試験紙には2つの変色部があります。試験紙の先端側は硝酸イオン(NO_3^-)測定部、持ち手側は亜硝酸イオン(NO_2^-)検知部ですが、亜硝酸イオンの測定はできません。検出/測定の際にはご注意ください。

《使用法》

1. 必要数の試験紙をアルミ容器から取り出し、直ちに容器の栓を閉めます。
2. pH2~12 に調整したサンプル溶液に1秒間試験紙の測定部と検知部の両方を浸した後、取り出します。
3. 試験紙に付いた余分な液を取り除き、60秒後に試験紙の測定部と検知部を容器外側のカラーズケールと比較/照合し判定します。
4. 硝酸イオン(NO_3^-)の存在で測定部は白色から赤紫色に変色します。もし検知部も赤紫色に変色した場合、亜硝酸イオンにより硝酸イオンの測定が妨害されたことを示します。この場合は下記《妨害》をご覧ください。

《妨害》

- 亜硝酸検知部がカラーズケールの+または++に変色した場合、亜硝酸イオン(NO_2^-)により硝酸イオン(NO_3^-)の測定が妨害されたことを示します。この場合は10mLのサンプル溶液に小匙1杯のアミド硫酸を加えてよく攪拌した後、上記《使用法》に従ってもう一度硝酸イオンの検出/測定を行います。
- pH1未満の強酸性溶液の場合は酢酸ナトリウムを、pH12超の強アルカリ性溶液の場合はクエン酸を加えてpH3~5に調整します。
- 次の量のイオンは測定を妨害しません。
 - 1000mg/L未満: Al^{3+} 、 As^{3+} 、 Ba^{2+} 、 Ca^{2+} 、 Co^{2+} 、 K^+ 、 Mg^{2+} 、 Mn^{2+} 、 Na^+ 、 Ni^{2+} 、 Pb^{2+} 、 Zn^{2+} 、 Cl^- 、 CN^- 、 SO_4^{2-}
 - 500 mg/L未満: Fe^{2+} 、 SO_3^{2-}
 - 250 mg/L未満: Fe^{3+} 、 $\text{S}_2\text{O}_3^{2-}$
 - 100 mg/L未満: $[\text{Fe}(\text{CN})_6]^{4-}$ 、 $[\text{Fe}(\text{CN})_6]^{3-}$ 、 Hg^{2+} 、 SCN^-
 - 50mg/L未満: Ag^+ 、 Hg^+
 - 25mg/L未満: S^{2-}
 - 0.25mg/L未満: NO_2^-

《保管》

日光および高温多湿に晒さず乾燥した+30℃以下の冷暗場所に保管し、開封後は使用期限に関わらず速やかに使用してください。